

# Tokyo Kasei Press

## 学園新聞

### 第76号

学校法人 渡辺学園  
 発行 総務部総務課  
 〒173-8602 東京都板橋区加賀  
 1-18-1 電話 (3961) 5226

東京家政大学 大学院  
 東京家政大学 短期大学部  
 東京家政大学 附属女子高等学校・附属女子中学校  
 附属みどりヶ丘幼稚園

### 主な内容

- 菅谷理事長・山本学長 年頭所感 …… 1面
- 平成30年4月リハビリテーション学科開設 子ども支援学科定員増 …… 1面
- 看護学科澤山あおいさん パワーリフティングで活躍 …… 2面
- 長南町バルーンアートプロジェクト クジラ浮上 …… 2面
- Tokyo 2020 学園祭への参加 …… 4面

**超高齢・人口減少社会の未来年表の中で**  
 創立百三十七年の今年も、東京家政大学にふさわしい大学教育改革を進めます。昨年四月に学長の任を受け九か月、研究ブランドイ



**学園改革は正念場**  
 少子化の嵐が吹きすさぶ中、着実に前進を続けて、わが国屈指の女子学園を構築する―このビジョンの下で始まった学園改革は新年に正念場を迎えます。



また、日本社会の未来を人口の観点から考えると、従来の社会と全く異なる様相が見えてきます。今年から「七十五歳以上の入

超高齢・人口減少社会の未来年表の中で、創立百三十七年の今年も、東京家政大学にふさわしい大学教育改革を進めます。昨年四月に学長の任を受け九か月、研究ブランドイ

23年間にわたり本学園の学長、理事長を勤められた故清水司先生が平成28年4月、私との理事長引き継ぎに託された言葉は「バツサリやつて下さい」の一言でした。理事長の前に監事を2年間勤め、同僚の和田義博監事と共にいくつかの提言もしてきた私は、学園改革の当面最大の課題が収支悪化の根源である附属中高と幼稚園・ナースリーの恒常的赤字の削減にあることは、清水先生と共通の認識。重要なのはその具体計画を作成し、実行することです。理事長就任直後から実行案を練り始め、一昨年早々の二大改革の実現に動き出しました。幼稚園・ナースリーは岩田力常務理事を長とする委員会の下、平成31年度に収容人員、校舎を増強して「認定こども園・小規模保育事業」に拡大均

平衡させる方針を昨年3月に固め、具体化を急ぎます。平成28年度までの6年間、年平均2億4千万円の恒常赤字を出し続けている中高は平成23年度以降、入学者数の激変に直面しているだけに抜本対策が迫られています。

木元幸一常務理事を中心とする委員会で練り上げた第1次改革案を昨年1月教職員、教職員組合に提示、受験手当の40%削減、校長のリーダーシップ確立、教育改革などを実施しました。しかし教員、生徒数の不均衡は正念場構造問題は本年以降の第2次改革に持ち越されています。

子ども支援学科 定員増  
 平成29年度に完成年度を迎えた子ども学部子ども支援学科は、平成30年度から入学定員が20名増加し120名になります。

この学科が女子大にできる利点は？  
 リハビリテーションは、筋力増強、関節可動域の改善といった直接的に手を下す事だけではなく、言葉を使い間接的に対象者が持っている能力を引き出すこと

先生が作業療法士の道を選んだきっかけは？  
 高校卒業時に、父の勧めで地元の病院の採用面接を受けた際に「リハビリテーションの分野に将来進みたい気持ちがありますか？」と聞かれ、何も知りませんが「はい」と答え就職が決まり、この道に進むことになりました。

先生がお話を聞き、目的を持って生活をする事の重要性を再確認しました。卒業まで残り数か月、悔いなく過ごしたいと思

先生がお話を聞き、目的を持って生活をする事の重要性を再確認しました。卒業まで残り数か月、悔いなく過ごしたいと思

**第7回 渡邊辰五郎賞**  
 日本近代の黎明期である明治時代の偉大なる教育家として評価されている渡邊辰五郎の偉業を讃え、後世に伝えるため、平成23年度に創立130周年を記念して「渡邊辰五郎賞」を創設しました。渡邊辰五郎賞は、本学の建学の精神である「自主自律」に相応しく、社会で活躍するとともに貴重な貢献をした卒業生を称えるものです。

既に応募は、12月31日に終了し、現在、渡邊辰五郎賞選考委員会にて、選考を進めており、2月末日に決定します。詳細については、学園のHPをご覧ください。  
 (総務課内「渡邊辰五郎賞」事務局)

清水先生 ありがとうございます。

清水先生 ありがとうございます。

清水先生 ありがとうございます。

**平成30年4月**  
**リハビリテーション学科開設**  
**子ども支援学科 定員増**

# 第57回 緑苑祭 祭色兼美

板橋校舎10月28日(土)・29日(日)  
狭山校舎10月29日(日)

台風の影響が心配される中、板橋校舎では10月28日・29日、狭山校舎では29日に、第57回緑苑祭が開催されました。

## ◇板橋キャンパス

緑苑祭の今回のテーマは「祭色兼美」。優れた才能と美しい容姿の両方を持つという「才色兼備」と学園祭の「祭」、美しい「美」を掛けたテーマで、学生それぞれが才能を発揮し、女子大生らしさを前面に出した学園祭を造りたいという思いが込められました。

本部企画では、「人気ランキング」、「ミスタガコンテスト」、「ハロウィン」をテーマにフラワーアレンジメント・仮想フォト、「クラウン(大道芸)」、「スタンプラリー」、「日本茶講座」、「メ

## 菅谷理事長 緑苑祭でハワイアンソングを披露

緑苑祭初日の10月28日(土)、菅谷理事長が、板橋校舎の憩いの広場でハワイアンソングを披露してくださいました。

理事長ご自身の趣味が歌うことであり、また、理事長の「学園祭を盛り上げた」という熱い思いから今回のハワイアンコンサートが実現しました。当日は雨が降り、足場の悪い中コンサートは始まりましたが、菅谷理事長の重厚感あふれるあたたかい歌声が広がると、雨雲はどこへやら……。いつの間にか雨は止んでいました。



## ◇狭山キャンパス

今年度で4回目となる狭山緑苑祭では「豪華絢爛、さやまつり」をテーマに、狭山緑苑祭が華やかで煌びやかなものとなるよう、また、「さやまつり」とまつりを掛け合わせ、地域の方々等に親しみをもってもらいたいという思いが込められました。

台風の余波をうける悪天候にもかかわらず、地域にお住まいの皆さまや高校生など多くの方々にご来場いただきました。

実行委員会によるお笑いライブ、スタンプラリー、移動動物園、同好会によるダンス発表、アカペラ、雑貨販売、模擬店、近隣高校の

曲目は、ハワイアン時代の楽曲として親しまれている「アロハオエ」や「カイマナヒラ」「ブルーハワイ」等を歌われました。また、フラダンスサークル、ジャズ研究会、学園理事のゆかいな仲間たちの皆さんが共演され、その演奏、フラダンスも素晴らしく、アンコールも大きな盛り上がりを見せました。



見事なコンピネーション

したが、学園全体で協力し、活気のある思い出に残る素晴らしい2日間でした。

生徒による書道パフォーマンス、学科企画によるそれぞれの特性を生かしたブースなど、昨年にも増して多くの催しを用意されました。学外からは能楽協会とNPO法人ねこけんにお越しいただき貴重な講演を行っていただきました。

大雨により、一時は中止を危ぶまれた後夜祭は、無事に開催することができ、「企画大賞の発表」や「イントロクイズ」など実行委員による企画で大いに盛り上がりしました。

学生・教職員、地域の方々のご支援の中、狭山緑苑祭実行委員の奮闘で成功裏に終了することができました。

「理事長」というと、自分たち学生にとってはどこか遠い存在の方でお堅いイメージがありました。しかし菅谷理事長が笑顔で素敵な歌声を披露してくださいました。

## 看護学科 澤山あおいさん パワーリフティングで活躍

澤山あおいさん(看護学科1年生)が8月27日から9月3日、アメリカのオーランド(フロリダ州)で開催された第35回世界ジュニアパワーリフティング選手権の女子52kg級に出場しました。

パワーリフティングは、バーベルを肩に担ぎ屈伸を伴う「スクワット」、ベンチ台の上に横になりバーベルを胸につけて挙上する「ベンチプレス」、床に置いてあるバーベルを引き上げる「デッドリフト」の3種目で合計挙上重量を競うスポーツです。

試合の結果は、トータル395kg(スクワット170kg、ベンチプレス87.5kg、デッドリフト137.5kg)で、堂々の総合5位、

種目別(スクワット)では3位となり、銅メダルを獲得しました。3種目とも自己ベストを更新し、得意のスクワットでは日本一般・ジュニア記録塗り替え、トータルでは日本ジュニア記録を塗り替えました。



種目別(スクワット)では銅メダルを獲得!

し、世界大会への出場につながりました。今大会に出場して一定の成果を上げることができたことで、澤山さんの目標は大きく変わったようです。今後の活躍が期待されます。

## 長南町パーパフォーマンステクニクジム浮上

去る8月20日に長南町総合地域センターで巨大クジラを製作するワークショップが実施されました。この活動は、本学と長南町で締結された包括協定の一環として、長南町小学校3年生児童25名、行政関係者・ボランティアの皆様、本学児童教育学科、造形表現学科の学生14名、本学教員(手嶋、畑山、結城)による協働活動として、設定されました。

実施にあたっての企画立案は、児童教育学科造形基礎Ⅱの授業で行われ、学生の皆さんは活動マネージャーとして各係(設計、資材調達発送、実施運営、記録)の実務を短い時間で見事に構築しました。その後、造形表現学科の皆さんが加わり、バンダナ製作と報告冊子作成を担当しました。当日は、参加者全員がそれぞれの立場から、ドキドキでした。児童達は初めての人たちに不安げな様子、学生諸君は、フアシリティーションが上手く行くのかなと、私たちは時間内に収まるのかと。10時から16時までの6時間はあつという間に過ぎて、みんなの想いを委ねたクジラは、無事に浮上しました。



## 「ナースリールーム」創設50周年を祝う会を挙げる

昭和42年に創設されたナースリールームが50周年を迎え、11月12日(日)10時より、120周年記念館の多目的ホールにて創設50周年を祝う会が挙行されました。当日は、快晴に恵まれ、学内外からの来賓、元室長・職員、卒園児とその家族、在園児とその家族総勢200人を超える出席者で、たいへん盛大で温かな祝う会となりました。

会のはじめに、保護者会が作成したナースリールームの50周年を振り返るスライドショウが25分上映され、その後の来賓の祝辞では、板橋区長坂本健氏が、時代に先駆けて乳幼児の最善の利益を尊重した保育の質を研究・実践してきたナースリールームの歴史を賞賛されました。

中盤では、在園児の祖父によるマジックショーが行われ、大人も子どもたちも緊張が緩み、和やかな会場の雰囲気となりました。また、歴代の室長(渡辺悌吉先生・日暮眞先生・網野武博先生・岩田力先生)も在職中を懐かしみながらご出席いただくことができ、最後に在園児とその家族がステージに立ち、大好きな「ナースリールームの歌」を歌って閉会となりました。



うれしいね! たのしいね! 50歳のおたんじょうび!

# 図書館



## 狭山緑苑祭に 参加しました!

今年度は10月29日(日)、狭山図書館が狭山緑苑祭に参加しました!

クイズ「パニー・ホンガスキーをさがせ!」の開催と、図書館に本が並ぶまでを解説したポスター展示を行いました。クイズは、館内5か所に隠れている図書館キャラクター「パニー・ホンガスキー」を探し出し、文字を集めて答えるもので、総勢128名の方に参加いただきました。地域の方から本学の学生・教職員まで、年齢層も子供から大人まで幅広く、たくさんの方にご来館いただきました。



▲狭山図書館入口



▲イベントポスター



▲ここにも隠れてました!

## 春期休業中の貸出

春休みは、通常より長く貸出ができます。暖かい部屋でぬくぬくしながら、ゆっくり読書はいかがですか? 4月からの新年度へ向けて、知識を蓄えましょう!

春期休業中の長期貸出(板橋図書館)

| 所属      | 貸出日             | 返却期限日   |
|---------|-----------------|---------|
| 大1-3・短1 | 1/17(水)~3/29(木) | 4/13(金) |
| 院在学年    | 1/17(水)~3/15(木) |         |
| 大4・短2   | 1/17(水)~3/17(土) | 3/17(土) |
| 院卒業学年   |                 |         |

春期休業中の長期貸出(狭山図書館)

| 所属   | 貸出日            | 返却期限日   |
|------|----------------|---------|
| 大1-3 | 1/9(火)~3/26(月) | 4/10(火) |
| 大学4  | 1/9(火)~3/17(土) | 3/17(土) |



卒業学年のみなさん  
貸出中の図書はすべて、3月17日(土)までに返却してください。

# 博物館

## 辰五郎と滋の見た 明治の衣生活大転換

## 好評のうちに終了



企画展「辰五郎と滋の見た明治の衣生活大転換」では、本学本校祖と二代目校長の視点を交えながら、大転換期である明治時代の衣生活を紹介します。



企画展展示風景



企画展展示風景



改良服を着て記念撮影

着装体験「渡邊辰五郎考案『改良服』を着てみよう」には、学生をはじめ、多くの皆さんが参加してくださいました。当館が作成したレプリカを実際に着用することで、改良服の構造や着心地を体験して頂きました。「思ったよりも動きやすい」「かわいいから売ってほしい」「かいいのにな」といった、うれしいコメントをたくさん頂きました。

ワークシヨップ「和紙で着物の雛形を作ろう」では、辰五郎考案の雛形尺を応用して、和紙で着物の6分の1サイズのミニチュアを作りました。着物の構造や、雛形尺の使い方を理解して頂いたことで、裁縫雛形の魅力をより一層感じて頂くことができました。

「赤い羽根共同募金活動」は、赤い羽根共同募金をより楽しく、協力していただいています。今回は子どもたちの熱心な「赤い羽根共同募金」の活動が、子どもたちの笑顔で盛り上がり、協力していただきました。



募金活動をするにじあお組



ご協力ありがとうございます



顔は本当に印象的でした。

## 幼稚園

10月15日(日)に、幼稚園では運動会を行いました。雨天のため、体育館での開催でしたが、子ども達はご家族が近くに見えるという屋内ならではの雰囲気の中で、元気いっぱい競技や遊戯に取り組みました。かわいらしいリスのお面をつけた年少児は、木陰に隠れた狼に捕まらないようにドキドキしながら走りまわりました。海賊に変身した年中児は波を超えて、岩を登り、発見した宝箱をお父様扮する海賊船長に届けます。代わりに大きな金貨をもらってゴール。年長児はダンゴ虫や蛙になったり、クモの巣をくぐったりと冒険を続け、最後はきれいな蝶になりました。ゴール手前で大木になっていただいたお父

様に、しがみつくさなぎの姿は微笑ましいものでした。会場一体となって盛り上がったのは年長児のリレーです。大歓声の中、友だちと力を合わせて一生懸命に走り、喜びも悔し涙も経験したことは大きな成長に繋がったようです。そして、そんな年長児を憧れの眼差しで見つめていた年少児と年中児の姿も印象的でした。運動会後、学年がまじりあって、踊ったり競技を楽しんでいたりしています。ポンポンや拍子木等を貸し合い、熱心に踊りを教えてあげる姿も見られ、異年齢の交流が活発になっています。



運動会、楽しかったね!

## 中学校・高等学校

その学校の生徒たちから音楽やゲームを教わったり、民族衣装に身を包んだりしながら、生徒同士の交流を深めることができました。最終日の別研修では現地学生と一緒に英語で会話をしながら、事前に計画を立ててきたコースを散策しました。他民族国家であるシンガポールは、地下鉄で2、3駅離れただけで、まるで違う国に来たような町並みを見えます。日本では決して感じるようなシンガポールは、様々な文化や歴史を肌で感じる貴重な機会となりました。

この5日間で生徒たちは自分の世界を広げ、また一つ大きな成長を遂げました。これからのグローバル社会では海外に目を向け、高い意識を持つことが大切ですので、自国の文化についても深く知っていただ

その学校の生徒たちから音楽やゲームを教わったり、民族衣装に身を包んだりしながら、生徒同士の交流を深めることができました。最終日の別研修では現地学生と一緒に英語で会話をしながら、事前に計画を立ててきたコースを散策しました。他民族国家であるシンガポールは、地下鉄で2、3駅離れただけで、まるで違う国に来たような町並みを見えます。日本では決して感じるようなシンガポールは、様々な文化や歴史を肌で感じる貴重な機会となりました。

この5日間で生徒たちは自分の世界を広げ、また一つ大きな成長を遂げました。これからのグローバル社会では海外に目を向け、高い意識を持つことが大切ですので、自国の文化についても深く知っていただ

その学校の生徒たちから音楽やゲームを教わったり、民族衣装に身を包んだりしながら、生徒同士の交流を深めることができました。最終日の別研修では現地学生と一緒に英語で会話をしながら、事前に計画を立ててきたコースを散策しました。他民族国家であるシンガポールは、地下鉄で2、3駅離れただけで、まるで違う国に来たような町並みを見えます。日本では決して感じるようなシンガポールは、様々な文化や歴史を肌で感じる貴重な機会となりました。



民族衣装を着させていただきました



現地の学校で文化交流



シンガポールといえば「マライオン」!

## 冬に流行する感染症に ご注意ください!

冬に流行する代表的なウイルスに「インフルエンザウイルス」と「ノロウイルス」があります。これらのウイルスは1年を通して空気中に存在しますが、特に冬季に流行します。インフルエンザウイルスやノロウイルスは、目や鼻、口から感染します。予防接種をお勧めします。

現在、抗インフルエンザウイルス薬があり、服用すると早期に症状が軽快し重症化を防ぎます。但し、発症(発熱が目安)から2日以内(発熱が目安)に使用しないと効果が期待できないようです。

突然、激しいおう吐から始まり、下痢を伴います。3日位で症状は回復します。予防接種はありませんが、感染した場合は、脱水症状にならないようにミネラルを含んだ十分な水分補給が大切です。

冬に流行する代表的なウイルスに「インフルエンザウイルス」と「ノロウイルス」があります。これらのウイルスは1年を通して空気中に存在しますが、特に冬季に流行します。インフルエンザウイルスやノロウイルスは、目や鼻、口から感染します。予防接種をお勧めします。

現在、抗インフルエンザウイルス薬があり、服用すると早期に症状が軽快し重症化を防ぎます。但し、発症(発熱が目安)から2日以内(発熱が目安)に使用しないと効果が期待できないようです。

突然、激しいおう吐から始まり、下痢を伴います。3日位で症状は回復します。予防接種はありませんが、感染した場合は、脱水症状にならないようにミネラルを含んだ十分な水分補給が大切です。

# Tokyo 2020 学園祭への参加

6月24日(土)「Tokyo 2020 学園祭」(東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会主催)が明治学院大学白金キャンパスで開催され、本学より、太鼓サークル「マンドリンクラブ」が参加しました。

今回のイベントは、近代オリンピックの一つであった絵画や彫刻、音楽などを競う「芸術競技」を「学園祭」としてアレンジしたものです。オリンピックと文化・芸術の関係性やその重要性について理解を深め、3年後に控えた東京オリンピック・パラリンピック大会の成功に向け、多くの学生があらゆるかたちで参加し、オールジャパンでの盛り

上げを図ることを目的として開催されました。当日のステージイベントには、全16団体、総勢400名以上の学生が参加し、東京2020大会のビジョンである「全員が自己ベスト」、「多様性と調和」、「未来への警鐘」という基本コンセプトのもとに、約1,000名の観客を前にパフォーマンスを繰り広げました。

「栄光の架橋」を演奏しました。演奏が始まると、来場客がマンドリンの演奏に合わせて口ずさみ、会場全体が一体となり、演奏が終わるころには、マンドリンクラブが奏でるやわらかく透明感のある音色が観客を魅了しました。

を見に行ったり、ボランティアとして参加したいと思っています。(3年 荒井優花)



▼マンドリンクラブ このような形でオリンピック・パラリンピック関連イベント「学園祭」に連関することができるとは想像もしていなかったもので、たいへん光栄でした。当日は、お客様も歌ってください、

太鼓サークルは、学園祭のトップで登場し、女性だけの和太鼓でありながらも躍動感に溢れた迫力ある演奏で観客を魅了し、見事にトップバッターの役割を果たしました。

また、学園祭中盤に出演したマンドリンクラブは、



＊本学は、組織委員会と大連携協定を締結(平成26年6月23日付)し、各種実施計画に積極的に参加することとしています。

## 板橋区民まつりに参加

板橋の魅力発信することを目的に、10月21日(土)板橋区民まつりに「いたばし6大学魅力発信ブース」として板橋区内の東京家政大学、帝京大学、日本大学医学部、淑徳大学、大東文化大学、東洋大学の6大学が参加しました。

平成28年9月に包括協定を締結した板橋区(政策企画課)と6大学で「板橋区大学連携連絡会」を発足し、「魅力発信分科会」連絡会議を6月に実施、初の活動が、板橋区民まつりへの出席です。第46回を迎える区民まつりは、40万人余の集客があり家族で楽しめる人気イベントです。通常は、10月第3土日の2日間の開催ですが、今年は、10月22日(日)が選挙と重なったため、21

日(土)のみとなりました。また、異例の台風直撃で悪天候の中での開催でしたが、参加者は多く、6大学参加のブースへも多くの方に足を運んでいただきました。

本学は、学生有志団体「食リンピック実行委員会」が参加しました。「食リンピック」とは、家政大学発祥の五感を使った「食」に関するゲームパッケージです。「食育」を発信することを目的として、平成18年より活動しています。今回は4名の学生が参加しました。

学生考案の「お米計りゲーム」や「豆まめゲーム」は、子どもから高齢者にまで好評で、雨の中、カラフルなレインコートを着た子ども達行列をなす姿は、ブースに花が咲いた様でした。



Life Assessmentサークルが「板橋区消費生活展」へ参加



食リンピック実行委員会による「食」のゲームを子どもたちと楽しむ

## 清水司名誉理事長のご逝去を悼む



平成29年10月21日午後1時44分、清水司名誉理事長が亡くなりました。平成5年から亡くなるまでおよそ40年間にわたり本学園の発展に多大な貢献をされました。ご葬儀は先生のご遺志により身内の方々だけで行われました。先生のご冥福を心よりお祈りいたします。

先生は、早稲田大学卒業後、早稲田大学にて研究活動に入り、昭和53年第11代早稲田大学総長に、その後を、国へ報告しています。



昭彦造形表現学科教授編集の思い出の映像により「清水先生の優しい笑顔」が映し出され、会は進行しました。

## 地球を救おう! 省エネで

学園では、エネルギー需要の増大する冬季及び夏季に、化石燃料の消費を抑制し地球温暖化防止による環境への負荷削減のための省エネルギーと節電への取り組みをお願いしてきました。

学園は国より電気、ガス等エネルギーの使用について、石油換算で対前年度1%のエネルギー消費削減を義務づけられた特定事業者の指定を受けています。

平成29年度防災訓練実施 10月12日(木)、大学・短大教職員、学生等を対象として、地震による火災発生を想定した通報、消火、救出、救護、避難訓練及び消防署に指導による実技訓練が行われました。避難場所は、中高グラウンドとなり、多くの先生方学生達が参加されました。

85周年記念館前広場では、消化器による消火訓練・応急救護訓練・起震車・煙体験ハウス体験等が実施され、緑窓会会長の挨拶、ご出席の恩師・緑窓会・学園関係者の紹介、卒業生の吉田千恵(旧 洪文媛)様(昭和42年大



起震車体験